

令和2年度（第25回）産業保健調査研究発表会

# 茨城県 成人期の発達障害リソースマップ

茨城産業保健総合支援センター メンタルヘルス相談員  
筑波大学 産業精神医学・宇宙医学研究室 助教  
大井雄一

# 研究体制

研究代表者	茨城産業保健総合支援センター 筑波大学医学医療系	メンタルヘルス相談員 助教	大井 雄一
研究分担者	同 コマツ茨城工場健康管理センタ	メンタルヘルス相談員 センタ長	友常 祐介
	同 筑波大学医学医療系	メンタルヘルス相談員 准教授	笹原 信一郎
共同研究者	農業・食品産業技術総合研究機構	産業医	新井 陽

## はじめに（背景と目的）

- 発達障害やその傾向のある労働者への対応は大きな課題
  - 他者とのコミュニケーションが機能しにくい
  - 業務上必要な情報が伝達できない
  - 対人関係トラブルに発展 など
- 適切な支援のためには、事業場と精神科医との連携が必要
- 紹介先すべき医療機関の情報が少なく困惑することが多い
- 医療機関、精神科医にアンケート調査を実施
  - 発達障害の疑われる方への診療について聴取
  - 茨城県内医療機関のリソースマップ作製
  - 事業場と外部医療機関の連携にあたって必要な情報を明らかにする

## 本調査における「成人の発達障害」の想定

DSM-5における「自閉スペクトラム障害」もしくは「注意欠如・多動性障害」等の診断基準を満たし、職場においては、通常、期待される業務ができず、人材育成の観点でも、通常、期待されるような成長が認められず、当人が二次的にメンタルヘルス不調を来すか、支援者の負担が高まることによって事例化するケースを想定

## 調査方法

- 茨城産業保健総合支援センターより茨城県医師会に協力依頼
- 対象：  
県医師会登録の精神科ならびに心療内科医療機関 64機関
- 方法：  
医療機関用質問紙（記名自記式）  
所属医師用質問紙（無記名自記式）をそれぞれ郵送  
返送用封筒を同封し郵送にて回収
- 調査期間：  
2020年5月13日から同年6月5日まで24日間
- 研究倫理：  
労働者安全健康機構 産業保健調査倫理委員会 承認  
（平成31年3月 通知番号2）

## 質問事項の整理

- 茨城産業保健総合支援センター主催セミナー  
「職場での発達障害への対応を考える ～スペクトラムと個性の捉え方と活かし方～」  
(日時：2019年6月14日、11月6日)
  - 参加者とのディスカッションを通じ抽出された問題点を抽出
- 研究者間で質問事項を整理

### <抽出された問題点【定義】>

- 発達障害の定義や診断基準は何か
- 治療はあるか
- 遺伝性があるか

# 質問事項の整理

## <抽出された問題点【対応について】>

- 関係性を悪くしない、あるいは修復する方法
- どのように業務指示をしたらよいか
- 職場の基本的なルールを守ってもらうには
- 本人が困っていないときの対応はどうすればよいか
- 職場のマンパワーや配属先に限界がある場合の対応
- 職場の人、周囲の人にどんな教育をしたらよいか
- レッテル貼りを防ぐにはどうしたらよいか

## <抽出された問題点【その他】>

- 成功事例を知りたい
- 医療機関を紹介する基準
- プライベートの問題点への対応（入浴、ごみ捨て等）

# 質問事項

## <医療機関向け>

- A 貴院に勤務している医師が保有している専門医等の資格保有者数
- B 成人の発達障害疑いの患者さんの診療をどの程度積極的に受け入れているか
- C 成人の発達障害に対する治療や対応について
- D その他、成人の発達障害に関するご意見やご要望

## <医師向け>

- A 成人の発達障害疑いの患者さんの診療をどの程度積極的に受け入れているか
- B 保有している専門医等の資格
- C 成人の発達障害に対する治療や対応について
- D 患者さんが受診する際、職場に対しての要望
- E 職場から主治医に対して、就業上の意見（診療情報提供書）をお願いすることがあるが、その後、職場からの情報提供やフィードバックは必要か
- F その他、成人の発達障害に関して、意見や要望



# 調査結果

- 64の医療機関に配布し29機関より回答
- 医師については68名より回答

## 茨城県 発達障害リソースマップ 医療機関の一覧

マップ番号	医療機関名	郵便番号	医療機関所在地	電話番号	積極的受入	実物療法	精神療法	心理アセスメント	知能検査	カンニング	ダイケア・リワーク	ソーシャルスキルトレーニング
①	こころのクリニック水戸	310-0801	水戸市桜川2-5-15	029-231-0150	○	○	○	○	○	○		
②	稲町診療所	310-0802	水戸市稲町1-5-20	029-233-1600	○	○	○	○	○	○		
③	桜川クリニック	310-0803	水戸市城東2-9-32第一ブンスビル2F	029-239-3370	○	○	○	○	○	○		
④	沼門診療所	310-0841	水戸市沼門町1577-10	029-240-1060	○	○	○	○	○	○		
⑤	水戸メンタルクリニック	310-0022	水戸市梅妻1-2-50	029-303-1155	○	○	○	○	○	○	○	
⑥	土浦メンタルクリニック	300-0036	土浦市大和町9-2ウララ2ビル307	029-826-7888	○	○	○	○	○	○		
⑦	土浦厚生病院	300-0064	土浦市東若松町3969	029-821-2200	○	○	○	○	○	○		
⑧	柳井病院	315-0133	石岡市半田1886	0299-42-3922	○	○	○	○	○	○		
⑨	豊後荘病院	315-0112	石岡市郡原760-1	0299-44-3211	○	○	○	○	○	○		
⑩	コミュニティクリニック・つくば	305-0822	つくば市刈間1555-1	029-856-7810	○							
⑪	泉峰の森クリニック	300-2655	つくば市島名472-1	029-848-2348								
⑫	筑波大学附属病院精神神経科	305-8575	つくば市天王台1-1-1	029-853-3210								
⑬	高萩それいっや病院	318-0004	高萩市上手町268	0293-24-0770	○							
⑭	児玉医院	314-0127	神栖市木崎2406-261	0299-93-1177	○	○	○					
⑮	早川医院	314-0031	鹿嶋市富中8-11-14	0299-83-2525		○	○					
⑯	筑西こころのクリニック	308-0811	筑西市荒田1758-6	0296-25-2515		○	○	○	○	○		
⑰	栗田病院	311-0117	那珂市豊後505	029-298-0175		○	○	○	○	○		

\* 調査に回答のうえリソースマップ掲載希望があり、成人の発達障害の診療に関して「積極的に受け入れている」あるいは「二次障害など部分的に受け入れている」と回答のあった医療機関を掲載

## 茨城県 発達障害リソースマップ



## 結果と考察

### 医療機関での患者受け入れについて

- 「積極的に受け入れている」「二次障害など部分的に受け入れている」：計72.4%
- 「積極的に受け入れている」機関：24.1%

診療の門戸は開かれている が  
成人発達障害に関して積極的に受け入れる医療機関は多くはない

### 保有資格

- 日本医師会認定産業医保有医師が所属する医療機関：58.6%
- 回答医師のうち同産業医資格をもつと回答：25.0%

産業保健の立場について一定の理解が期待できる可能性

# 結果と考察

## 治療と支援

- 薬物療法・精神療法：95%以上
- 心理アセスメント、知能検査、心理職カウンセリング：70%
- デイケア・リワーク：28.6%
- SST：9.5%

本人特性の理解や職場対応について助言を期待できる  
具体的トレーニング等の場の充実が望まれる

# 結果と考察

## 就労に関する助言・受診時の職場への要望

- 就業状況や職場の困りごとの情報が必要と回答：8割
- 上司や人事に助言可能：85.3%
- 産業保健スタッフに助言可能：63.2%
- 職場スタッフの同伴受診希望：36.8%

職場関係者の同行受診、主治医との情報交換は有用

(本人と主治医の了承は必要)

- 就業上の意見に対し事業場からの情報提供・フィードバック希望：83.8%

産業医・主治医間の情報提供の継続

職場関係者が同伴受診を定期的にな同伴受診も有用

## 結果と考察

ご本人、支援機関、職場関係者の円滑な連携のために

### ① 疾病性と事例性

「事業場で何が懸念されているか」を軸に考える

### ② 発達障害に関するリテラシー

発達障害についての知識啓発とアップデート

### ③ 信頼関係の構築

事業場内外の複数リソースとの連携

「事例性」の共有と記録

業務遂行と健康維持のための「支援」であることに留意

## まとめ

茨城県内の医療機関と精神科医の概況として以下の知見を得た

- 診療そのものへの門戸は開かれていること
- 積極的に受け入れている医療機関は多くないこと
- 治療として薬物療法、心理検査、カウンセリングが中心であること
- デイケア・リワークやSSTは多くないこと
- 職場や産業医からの本人に関する情報提供に対するニーズが高いこと

### • 今後の課題

- 相談リソースのさらなる拡充
- 事業場内資源と事業場外資源間のいっそうの連携強化

## 謝辞

茨城県医師会元会長 諸岡信裕様

茨城産業保健総合支援センター主催セミナー参加者の皆様

茨城産業保健総合支援センター副所長 大久保一樹様、  
元副所長 中村剛様、所長 小松満様、寺門裕直様

質問紙のご回答をくださった医療機関の皆様、医師の皆様

本研究に携わってくださった全ての方々に、心より感謝を申し上げます。